



●身近で楽しい話題、明るい話題待っています。

広報こまつしま 電話 32-3812

5/23

心やすらぐ田園風景 水車がまわる小川でホタルを鑑賞

田浦町西原地区で5月23日、「ホタルまつり」が行われ、季節の風情を楽しもうと家族連れらで賑わいました。

同地区には、水田に水を供給する水車が今でも残されており、周辺には心やすらぐ田園風景が広がり、ホタルが生息しやすい環境が整えられています。

会場を訪れた家族連れらは、多くのホタルが乱舞する姿を見ながら歓声を上げ、初夏の風物詩を楽しんでいました。



会場周辺の心やすらぐ田園風景

善意の寄付

◆6月1日

小松島市消防団第1分団（松山和則分団長）が6月1日、市役所を訪れ、稲田市長に車いす2台が贈呈されました。

車いすは、8年程前から第1分団の分団員と家族が空き缶のプルタブを集め購入したもので、昨年市民の寄付などにより、分団詰め所を新築することができ、その恩返しにの気持ちを形に残そうと、市に車いすを贈ることにされたそうです。

寄贈された車いすは、市役所1階ロビーに配置されることになりました。

◆6月5日

小松島市消防団第4分団の元団長で、今年4月に亡くなられた西川馨さんの生前のご遺志により、6月5日、ご遺族である西川まり子さんから図書館の書籍購入費用が寄付されました。

まり子さんは、ご子息も同様に消防団の分団員をされていることもあり「防災に関連する書籍を購入して欲しい」と話されていました。

寄付金により、かわいいイラストでわかりやすく火遊びや水遊び、火災等を説明する子ども向け紙芝居、実際に起こった事例を紹介した災害に関する専門書等が購入される予定です。

◆6月4日

小松島ロータリークラブ（佐賀守会長）が6月4日、市役所を訪れ、クラブ創立55周年を記念して、市内11小学校に寄贈される児童向けの書籍58冊（11万円相当）と目録を、稲田市長に手渡されました。

各校の要望を聞いて購入された書籍は、グリム童話や辞書、防災関連の本などで、各校6〜8冊ずつ配分されました。

佐賀会長は「本を親友と思い、多くの書籍を読んで欲しい」と話されていました。

◆6月9日

小松島手工芸文化協会（広野カズ子会長）が6月9日、市役所を訪れ、稲田市長に4月18日から20日まで行われた小松島手工芸文化フェスティバルが盛況であったことなどを報告され、小松島市の手工芸文化発展のため「ミリカホールの作品展展示用パネルの購入費として使用して欲しい」と、チャリティバザーの収益金の一部、5万円を寄付されました。

5/24

健康歴史散策 立江町「新四国八十八ヶ所霊場」巡り



石仏の前に立ち止まり、手を合わせる参加者ら

誰もが手軽に四国霊場八十八ヶ所巡拝ができるよう昭和15年に開創された「立江新四国八十八ヶ所霊場」で5月24日、同霊場巡り（たつえ歴史教室主催）が行われ、県内各地の約200人が参加しました。

この霊場は、地元で「新四国さん」と親しまれ、立江町清水にある立江寺奥の院を基点とし、笠松山から景岩寺に至る尾根沿い約2kmの山道に、霊場番号や寺名等を刻んだ石仏2基から3基を配置したものです。

参加者は、石仏の前で手を合わせたり、コース上の史跡物等の説明を受けながら、心地よい汗を流しました。

竹林の中にあるこのコースは、先人の残した文化遺産を大切にしようとする地元の方々が竹の伐採などを行い整備。大変歩きやすく、手軽なハイキングコースとなっています。

